

第2章 地域概況

第1節 地理的概況

1 地 勢

西部圏域は、鳥取県の西部に位置し、島根県との境界に位置している。面積は1,208.48 km²、その範囲は南北に50 km、東西に30 kmである。

地形をみると、境港市、日吉津村、米子市の北側が位置する弓ヶ浜半島（全長約17 km、幅約4 km）が主要な平坦地域であるが、米子市の南側からは、中国地方最高峰の大山（標高1,729m）や南部に位置する船通山（標高1,142m）、岩樋山（標高1,271m）などに囲まれた山間地域であり、その中央を日野川（延長77 km）が南から北に縦断して流れている。この日野川の流域面積は870 km²であり、圏域の7割強を占めている。

地質的には、広く大山の火山活動による噴出物が堆積し、その広大な裾野には伏流水による多くの自然湧水が見られる。他方、日野川は上流域が花崗岩分布域となっており、河口付近には皆生温泉等の温泉が立地する。

◆図表 2-1-1 構成市町村の面積と構成比

項目	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	合計
面積(km ²)	132.42	29.1	4.2	189.83	114.03	139.44	340.96	133.98	124.52	1208.48
構成比(%)	11.0	2.4	0.3	15.7	9.4	11.5	28.2	11.1	10.3	100.0

(出典:各市町村ホームページ)

◆図表 2-1-2 西部圏域の地理



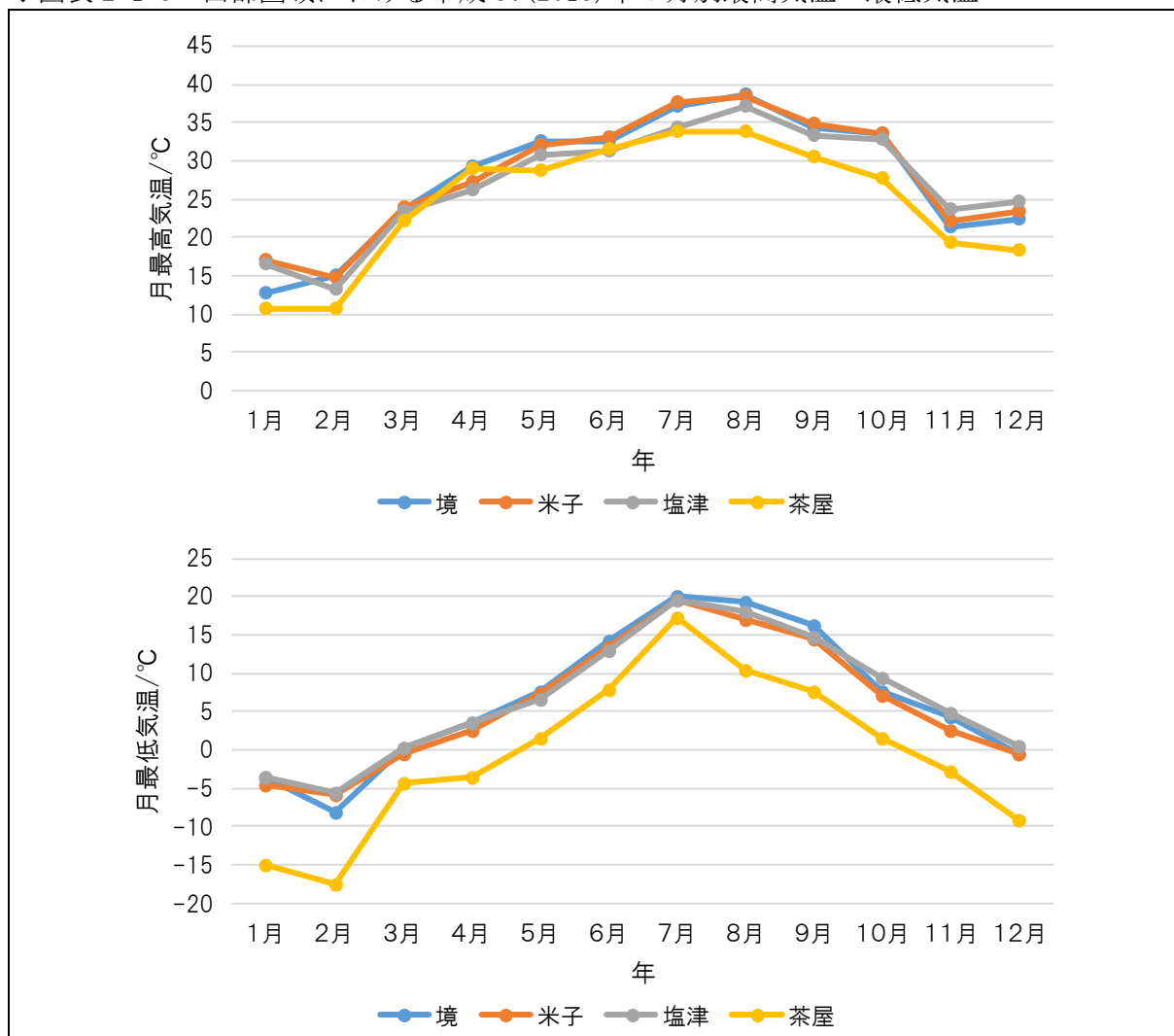
2 気 象

西部圏域の気候は、対馬海流の影響で気温が比較的温暖な日本海岸式気候の山陰型に属する。

近年の観測上、冬季にマイナス 20℃以下の低温が記録されたことはない。特に沿岸部では、マイナス 10℃以下になることも稀である。夏季はフェーン現象により好天・高温となる場合があり、近年では最高気温が 37℃を超えることが珍しくなくなっている。冬季には北西季節風が強くなり降雨・降雪が多くどんよりとした天候になりやすい。山間部は、夏季は比較的涼しいが、冬季の積雪量は多い。ただし、日合計最大降雪量が 1メートルを超えることはほとんどない。

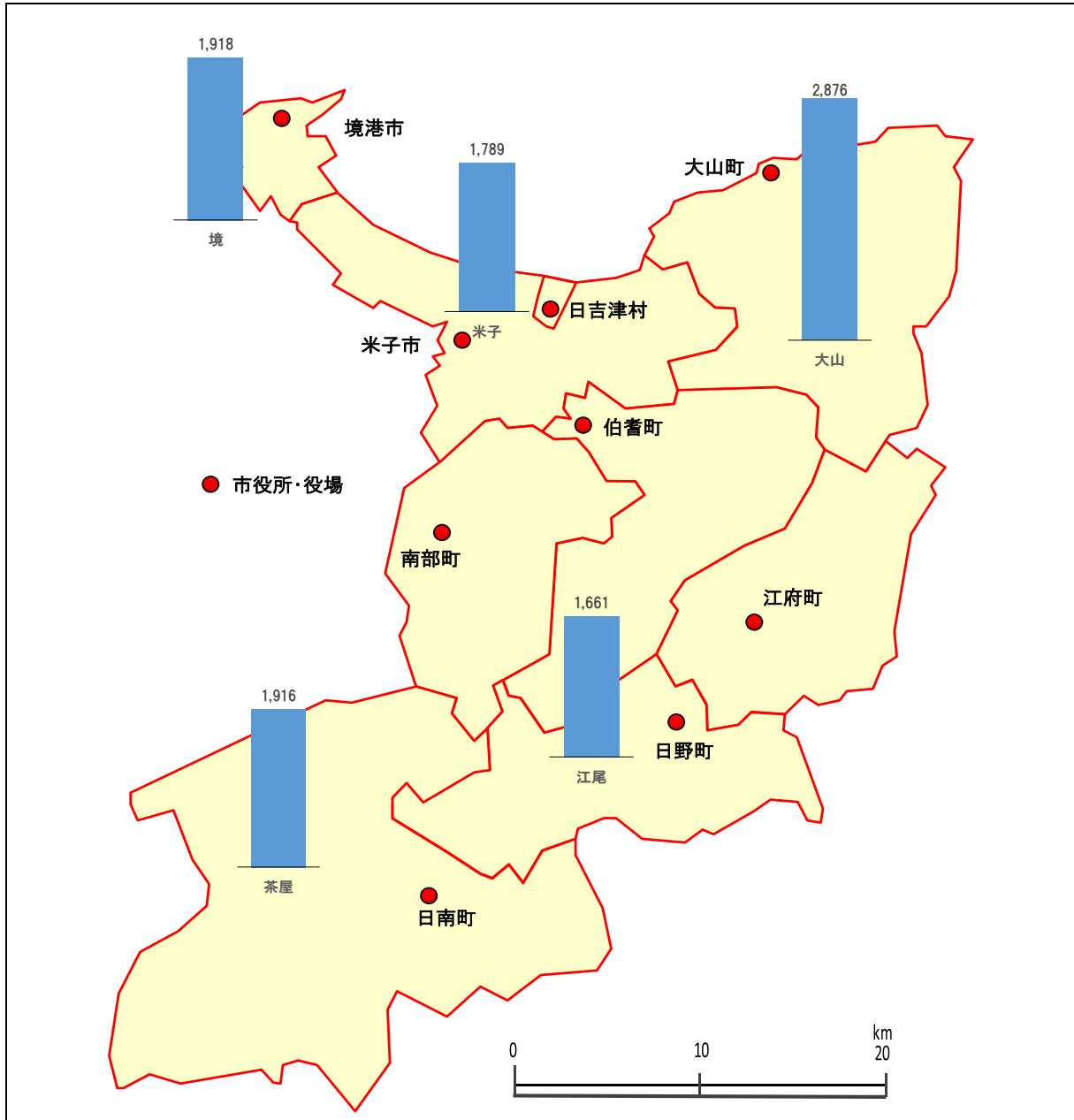
降水量分布は図表 2-1-4 に示すとおり、大山山頂付近での 2,876mm/年を最高に、南部、北部では 1,900mm/年程度で、大山山麓の周囲は少し少なく 1,700～1,800mm/年程度となっている。なお、図表 2-1-5 に示すとおり、近年は、局地的な豪雨が発生する場合もある。

◆図表 2-1-3 西部圏域における平成 30(2018)年の月別最高気温・最低気温



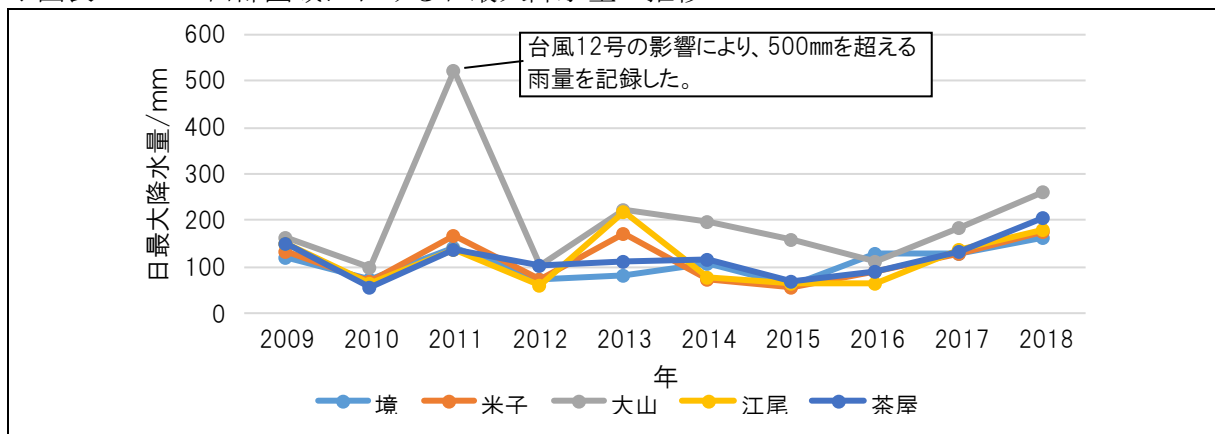
(出典:気象庁ホームページ)

◆図表 2-1-4 西部圏域における年間降水量分布（1983～2018年の年間降水量平均値）



（出典：気象庁ホームページ）

◆図表 2-1-5 西部圏域における日最大降水量の推移



（出典：気象庁ホームページ）

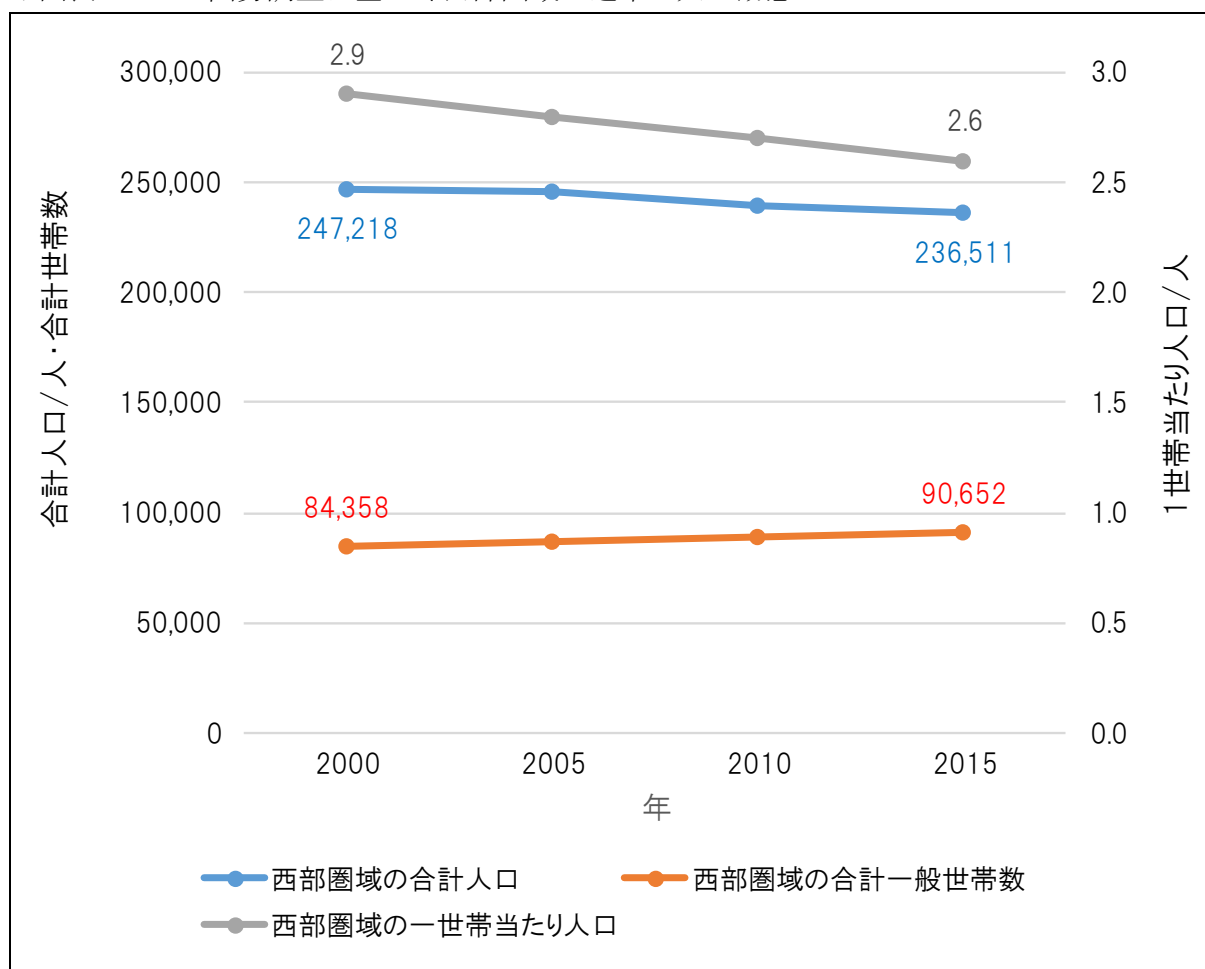
第2節 社会的概況

1 人口・世帯数

西部圏域の人口は、国勢調査によると平成12(2000)年以降減少傾向にあり、平成27(2015)年において236,511人である。一方で、世帯数は増加傾向にあり、1世帯当たり人員数は減少しつづけ、少子高齢化及び核家族化が進行している。

また、住民基本台帳人口に基づく市町村別の割合は、米子市の63.3%を最高に、境港市14.5%と続き、その他の町村は10%未満である。

◆図表 2-2-1 国勢調査に基づく西部圏域の近年の人口動態



(出典:鳥取県ホームページ)

◆図表 2-2-2 市町村別人口・人口構成比・単位面積あたり人口

項目	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	合計
人口(人)	147,861	33,919	3,537	16,233	10,769	10,900	4,514	3,050	2,903	233,686
構成比(%)	63.3	14.5	1.5	6.9	4.6	4.7	1.9	1.3	1.2	100.0
人口密度(人/㎢)	1,117	1,166	842	86	94	78	13	23	23	193

※人口は、令和元(2019)年11月30日現在

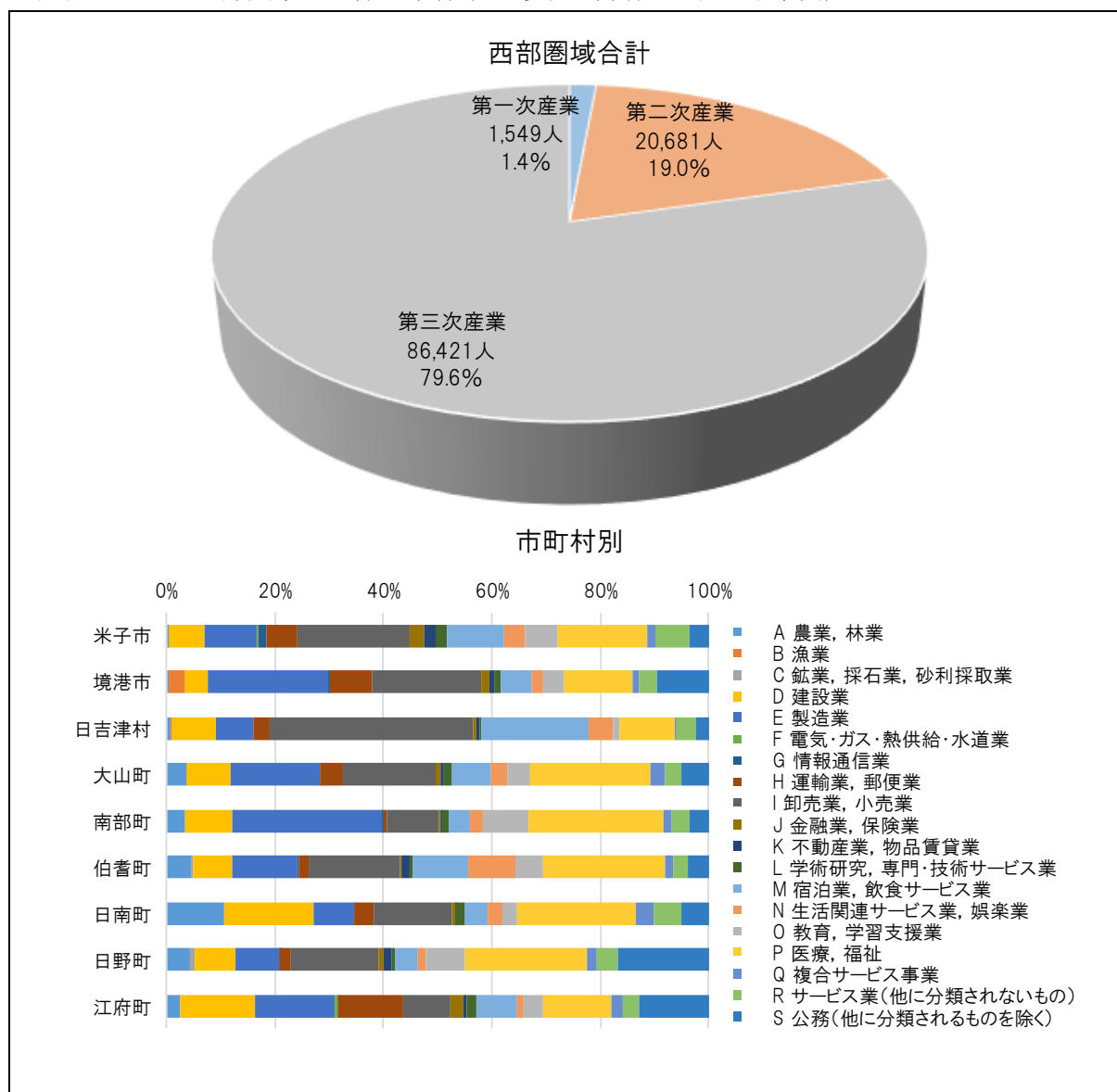
(出典:各市町村ホームページ)

2 産 業

産業別就業者数で見ると、西部圏域の産業は、圧倒的に第三次産業の比率が大きく、第一次産業の比率は少ない。中でも最も就業人口の多い産業種別は、卸売業、小売業（就業者数 21,741 人）となっている。

この地域において、今後、成長が期待されている産業としては、恵まれた観光資源を生かした観光業がある。漫画家・水木しげるが描く妖怪たちのオブジェ、絵タイル、モニュメント等が歩道に設置されている商店街「水木しげるロード」（境港市）は、特に人気が高い観光施設となっている。また、弓ヶ浜半島の付け根にある皆生温泉（米子市）は、源泉温度が 63℃～83℃、泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉、源泉数は 19 カ所、湧出量は毎分 4,456.5 リットルと豊富な湯量、海水浴場に隣接する立地等に恵まれ、山陰地方最大規模の温泉地として、鳥取県内随一の入湯客数を記録している。

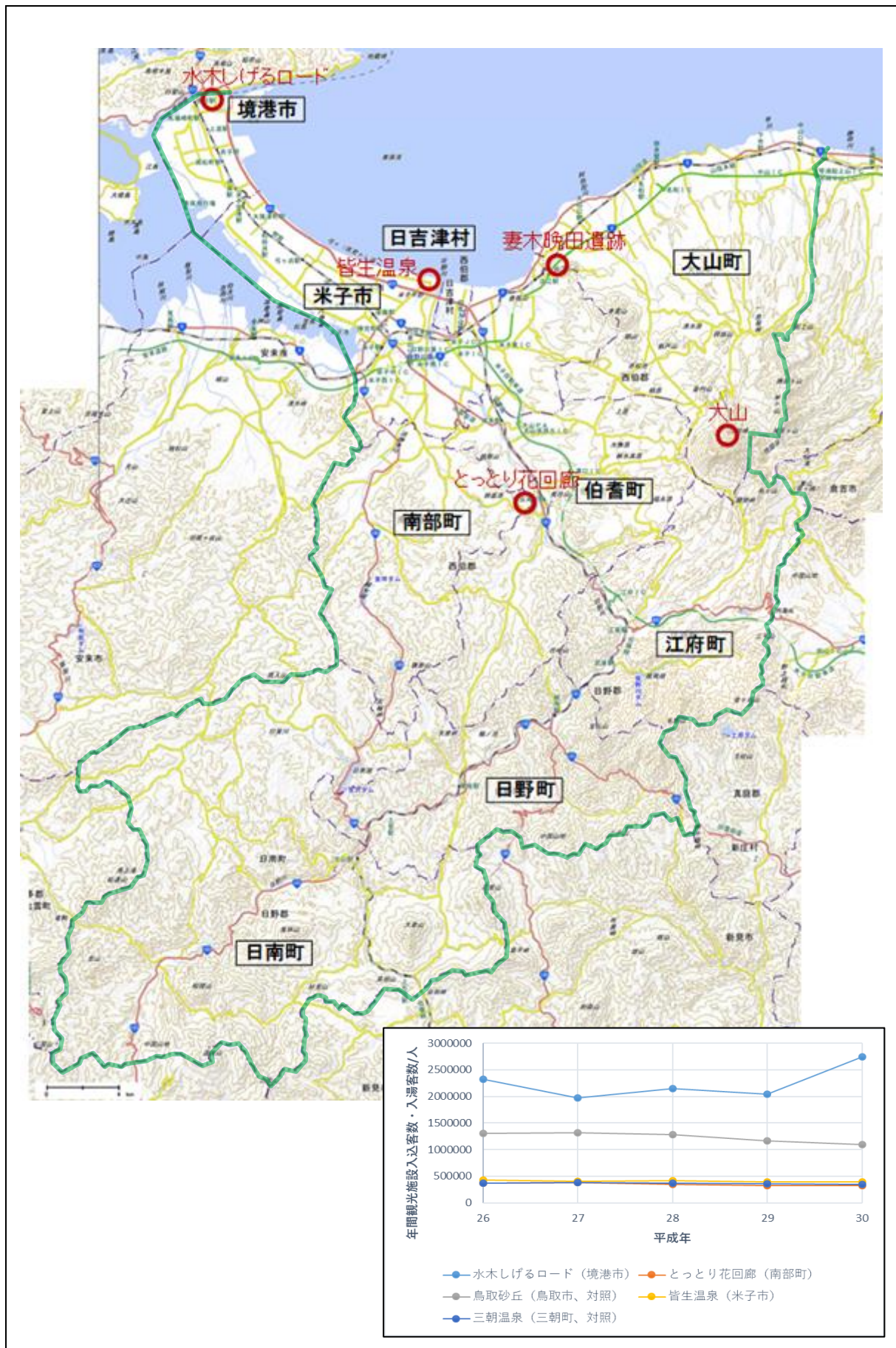
◆図表 2-2-3 西部圏域の産業別就業者の状況（平成 26(2014)年度）



※グラフ中の割合は、合計就業者数に占める割合

(出典：平成 26(2014)年経済センサス基礎調査)

◆図表 2-2-4 西部圏域の主要な観光資源の分布状況



(出典:鳥取県ホームページ)

3 交通

西部圏域における交通の特徴は、J R山陰本線に加えてJ R伯備線及びJ R境線があり、鳥取県内の他地域に比べて鉄道網が発達していることである。

道路交通網は、広域交通網として平成17(2005)年8月に中国横断自動車道岡山米子線落合ジャンクション～米子ジャンクション間が全通し、近距離、中距離及び遠距離の違いを問わず、当該地域において自動車交通に依存する傾向が高まっている。また、東西方向の主要道路として国道9号と山陰自動車道が、南北方向の主要道路として国道180号、国道181号、国道183号、国道431号がある。

このように、自動車専用道路網の整備の進捗により中距離及び遠距離移動のための公共交通機関として高速バスの重要度が増している。

さらに、空路については、米子市と境港市に跨る美保飛行場は、元来、自衛隊の施設であるが、現在、「米子鬼太郎空港」として民間旅客機の就航があり、東京国際空港との間の国内線の就航があるほか、国際線の就航もある。米子鬼太郎空港への旅客のアクセスは、平成20(2008)年6月に空港ビルの至近にJ R境線の米子空港駅が開設されたことにより、大幅に改善されている。

◆図表 2-2-5 西部圏域の交通網

